

平成 28年 9月 4日

し ょ う よ う

松陽

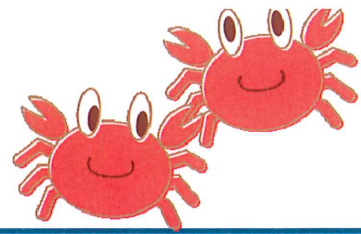
太陽のように
まぶしい笑顔で
元気一杯の松陽寮!

第108号

<発行> 広島県立障害者療育支援センター 松陽寮
発行責任者 小家石 龍次
739-0133 東広島市八本松町米満 198-1
TEL 082-428-6671
FAX 082-428-6670
URL <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>
E-mail syouyou@hiroshima-wsc.jp



観劇をして感激



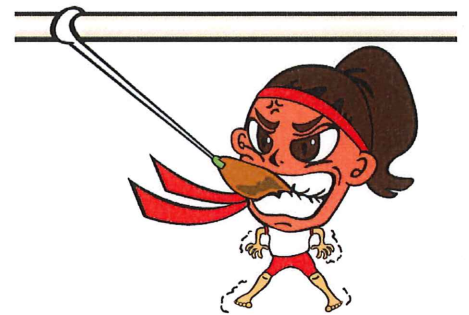
6月5日に、第一支援課利用者樋高健治さんのお母様が団長をされている「美鈴舞踊劇団」の舞踊ショーが、松陽寮訓練棟特別ステージで行われました。座って観ていた利用者も演目が進むにつれて調子が出始め、曲に合わせて客席で踊りだす利用者が見受けられるなど、舞踊ショーを観劇して感激した一時でした。

美鈴舞踊劇団のみなさま、ありがとうございました。

2ファミリー（第2支援課） 藤原 博

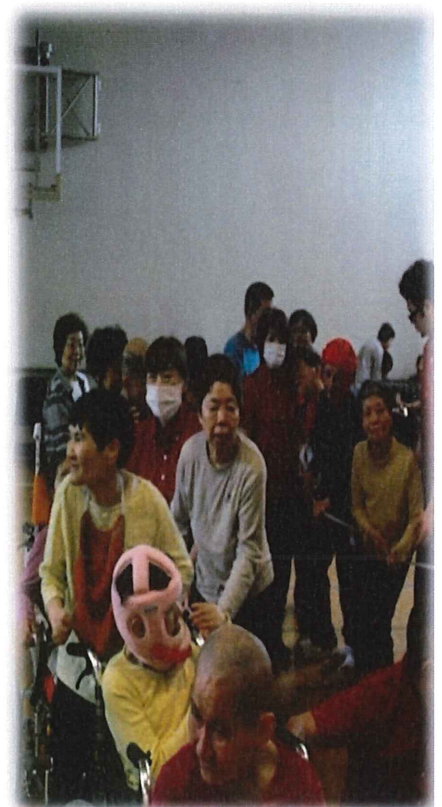


スポレク祭



今年の梅雨は例年になく雨量が多く、スポレク祭当日も大雨になってしまいました。雨が降っても体育館の中は大声援でした。パン食い競争では、パンを笑顔で取る利用者さんがとても印象的でした。また一緒に参加された保護者の方も共に笑いながらパンを取る姿は、このスポレク祭をおおいに盛り上げてくれました。

3ファミリー（第3支援課） 築地伸治



生花クラブ外出

7月14日、生花クラブ利用者・職員一同で「ちろりんタウン」で昼食会を行いました。刺身・天ぷら。握り寿司をはじめ、スイカやメロンなどの夏を感じる果物まで、季節感あふれる豪華な食事を美味しく味わいました。食事の後は、お楽しみのカラオケタイム。マイクを持ち、好きな歌をリクエストして、楽しそうに歌っておられました。「また行きたいね」楽しいひと時を過ごされました。



アート活動『松クラブ』

地域支援課では昨秋から峰崎真弥さんという若い女性アーティスト(画家)を招聘し、芸術創造活動を通じて利用者の個性や才能、可能性を引き出し、自己表現を実現することを目的にアート活動を本格的に再始動しました。

サークル名はみんなで話し合って『松クラブ』と命名し、利用曜日の異なる利用者が公平にアートに触れる機会を確保するため曜日は不定で月1回活動を実施しています。

成果を求めない、感じていくこと、利用者との対話、時間を共有することを大切に支援し、日頃の散策で収集した自然物を和紙に並べたラミネート加工、尾道帆布の端切れを活用した廃材スタンプやペイントを施したガーランド作り、紙粘土によるレリーフ、噴射ピンを使った染色等多岐に亘る芸術創造活動を生き生きとした表情で毎回楽しんでいきます。未来のアーティストにご期待ください！

地域支援課



暑い！熱い！おいしい！楽しい！平岩夏まつり

今年は、暑さ対策の一つに、第2支援課利用者玄関前から支援センター玄関までの巡回バスを運行しました。利用者・保護者・職員の、ワクワク感満載の笑顔・涼しそうなクールビューティーの笑顔が車窓に咲いておりました。

支援センター玄関前ロータリーに設置したテントでは、バザーで購入された焼きそばや焼き鳥・ジュースなどを、保護者やボランティアの方々と、おいしそうに食べておられました。

夏まつり会場での、松陽寮自治会バザーブースでは、ジュースを販売していましたが、お客さんに大人気で、何度も仕入れをしたようで、大盛況でした。

暑い！熱い！おいしい！たのしい！平岩夏まつりを、無事に終わることができたのは、地域や平岩小学校PTAの皆様をはじめ、ボランティア・保護者・職員の皆様と利用者の方々の笑顔のおかげです。

これからも、様々な行事に向けて、「暑く！熱く！おいしく！楽しく！優しく！」取り組んでいきたいものです。

4ファミリー（第4支援課） 岡田 広司



行事予定

- 10月1日 中部地区運動会
- 11月9日～11月14日
松陽寮作品展（くらら）
- 11月20日 課別懇談会

編集後記

残暑が続いてますが体調は崩していませんか？松陽寮の改修工事もあと少しです。利用者の皆さんや職員も心待ちにしております。